

## 令和2年7月豪雨被害



(流出した久大本線の第二野上川橋りょう)

【画像：JR九州】

7月4日以降、九州地方を中心に全国広い範囲において大雨が降り続き、甚大な被害が出ています。本部は各地区本部に対し、組合員の被害状況を確認することと共に、命を守る行動を迅速に取ることを指示しました。幸いなことに現時点（7月14日 20時）において、組合員の被災は確認されていません。当面は、組合員・家族の被災状況等の把握に努めていきます。

今回の災害で、鉄道設備にも甚大な被害が与えられました。復旧には相当な時間を要するとされ、J.R.連合と連携して所要の対応に率先して尽力していきます。今後、このような甚大な自然災害は頻発に起きると予想されています。組合員におかれましては、普段から防災意識を高めて頂き、備えと早め早めの行動が自分や家族の命を守ることに強く認識してください。

### 「過去10年の 甚大な災害」

- 2017年7月 九州北部豪雨  
・福岡県、大分県を中心に大雨が降り、JR九州の路線が甚大な被害を受けた。死者40人
- 2016年8月 台風7・9・10・11号及び、前線による大雨・暴風  
・9年ぶりに北海道に上陸した台風、そして23年ぶりに本州などに上陸せず北海道に直接上陸した台風となった。農作物への甚大な被害（トウモロコシ・ジャガイモ・玉ねぎ）をもたらした。死者25人
- 2016年4月 熊本地震  
・4月14日に前震（M6.5）が発生し、最大震度7を益城町で観測。4月16日に本震（M7.3）が発生し、益城町で最大震度7を観測。熊本県と大分県の広い範囲で震度6弱～震度6強を観測した。死者273人
- 2016年4月 大分中部地震  
・4月16日発生したM5.3の地震。熊本地震に誘発された地震。
- 2015年9月 関東・東北豪雨  
・茨城県で鬼怒川が決壊し、広い範囲が水没した。死者8人
- 2014年10月 台風18号  
6日、東海道線・由比ヶ浜と鷺津・新所原間では土砂流入の被害が発生。このうち鷺津・新所原間は、7日朝までに復旧作業が完了したが、由比ヶ浜間は、10日間不通となり、並走する国道1号線も4日間規制され、経済損失は228億円に上った。
- 2014年9月 御嶽山噴火  
・9月27日11時52分。登山客が山頂に多くいる時間帯に突然噴火し、多くの登山客が巻き込まれた。死者57人
- 2014年8月 豪雨による広島市土砂災害  
・広島市北部の安佐北区・安佐南区の複数の箇所にて大規模な土砂災害が発生。死者74人
- 2013年8月 猛暑  
・上旬から中旬にかけて全国的に猛暑となり、高知県四万十市江川崎では、当時の観測史上最高となる41度を観測した。
- 2012年7月 九州北部豪雨  
・福岡県、大分県、熊本県を中心に大雨が降り続き、熊本県阿蘇市阿蘇乙姫では、6時間で459.5ミリの雨量を観測する記録的な豪雨となった。死者30人
- 2011年3月 東日本大震災  
・3月11日、M9.0の巨大地震（国内観測史上最大）最大震度7。東日本の太平洋沿岸部に大津波が襲来し多大な被害を受けた。また、福島第一原子力発電所事故も発生するなど、日本は戦後最大ともいえる国難に直面した。死者19689名。
- 2011年3月 長野県北部地震（栄村大震災）  
・3月12日に発生したM6.7。栄村では震度6強を記録しており、家屋の倒壊や土砂崩れなどの被害を受けた。死者3人
- 2018年6月 大阪北部地震  
・高槻市では小学校のブロッコリーが倒れ、登校中の児童が下敷きになり犠牲となった。死者6人
- 2018年7月 西日本豪雨  
・広島県、岡山県、愛媛県などに甚大な被害をもたらした。死者は200人を超えた。西日本の大動脈でもある山陽線が長期間に渡り不通となり、JR貨物も大きな影響を受けた。死者263人
- 2019年10月 台風19号  
・千曲川が氾濫し、JR東日本の北陸新幹線車両センターが水没した。死者91人
- 2019年9月 台風15号  
・千葉県市原ゴルフガーデン鉄柱が倒壊し、近隣の民家を直撃した。死者3人
- 2019年8月 九州北部豪雨  
・長崎県、佐賀県、福岡県にかけて広い範囲で線状降水帯が発生。観測史上1位の値を更新する記録的な大雨となった。死者4人
- 2018年9月 北海道胆振東部地震  
・苫厚真火力発電所の緊急停止から発生したブラックアウトにより、全道295万戸が停電となった。死者43人